



第8週4月20日(曇り)

東京工芸大グラウンド

第1試合【1回戦】浜翔1勝

浜翔、投打のベテランの活躍で今季初勝利!

	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)		計	安打
浜翔	2	0	0	3	1		6	(2)
港南	0	0	0	1	1		2	(8)
	(0)	(3)	(2)	(2)	(1)			審:五十嵐

【勝】大川 1勝 3敗(1)

【敗】小林隆 1勝 1敗

MVP:土門 V打点:土門
二塁打:高橋幹・成田(港南)

港南					浜翔								
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率		
7	大谷	2			.583	6	山脇	1			.111		
2	古山	1	1		.625	8	高木浩	1	1		.286		
6	新川	2			.273	2	長南	3			.333		
8	亀田宏	2			.333	5	土門	2	1	3	.300		
1	小林隆	2	1		.462	4	後藤	2			.167		
D	高橋幹	2	1		.300	3	犬塚				.000		
D	河原	2	2	1	.300	9	竹内	3			.000		
5	金森	2	1		.111	7	片岡	2			.154		
3	成田	2	1		.125	1	大川	2	1		.182		
D	佐々木	2			.000	D	山田	1			.000		
4	中上	2			.125								
9	市之瀬	2	1		.300								
チーム計					23	8	1	.348	チーム計				

※守備位置はスタート時

投手	回	安	四	三	自	投手	回	安	四	三	自
氏名	数	打	球	振	責	氏名	数	打	球	振	責
小林隆	4	2	11	2	4	大川	5	8	1	4	2
亀田宏	1		1	1							
チーム計						5	2	12	3	4	2

港南先発はここまで無失点と好調の小林。だが、この日は制球に苦しみ、初回、先頭から連続四球で走者をためると、土門に2点適時打を浴び先制を許す。対する浜翔先発・大川は2回に高橋幹、河原、金森の3連打で満塁とされるも後続を断ち無失点とするなど、3回4奪三振で港南の強力打線を無失点に抑える。小林も2回3回は苦しみながらもなんとか無失点で凌ぐも、2-0で迎えた4回表に下位打線に3連続四死球で満塁とすると、失策と押し出しなどで3点。その裏、港南も河原の適時打で1点、最終5回にも成田の二塁打と暴投で1点を返すも及ばず。大川が8安打を浴びるも2失点完投。浜翔打線はわずか2安打ながら小林の制球難に助けられ、うれしい今季初勝利。MVPには先制適時打で四番の役割を果たした土門が選ばれた。(港:菅)



先制適時打(土門)

第2試合【1回戦】港1勝

港が下位打線の活躍で終盤に湘南を突き放し快勝!

	(1)	(0)	(2)	(1)	(1)	(1)		計	安打
湘南	0	0	1	2	0	0		3	(6)
港	4	0	0	3	4	x		11	(9)
	(4)	(0)	(0)	(2)	(3)	(0)			審:五十嵐

【勝】斎藤 4勝

【S】川崎 4S

【敗】関根 2敗(1)

MVP:上原
三塁打:上原(港)
二塁打:川崎・三輪(港)

港					湘南								
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率		
8	菅和	2	1		.333	8	佐藤寿	3			.000		
6	高橋茂	3	1		.091	2	石川誠	2	1		.333		
2	川邊	2	1	1	.545	3	中路	2	1		.462		
5	嶺井	3	2	2	.364	7	小嶋	2	1		.375		
D	川崎	3	1	3	.308	9	富田	2			.222		
9	清宮	2			.429	5	廣野	2			.083		
4	島	2			.000	D	網倉	2			.100		
1	斎藤	1			.364	6	田端	2			.083		
7	三輪	2	2	2	.500	1	関根	2			.250		
3	上原	2	1	2	.182	4	古川	2	2	1	.300		
D	高橋信	2			.200	D	谷田	2	1		.182		
D	椎野	2			.000								
チーム計					26	9	10	.346	チーム計				

※守備位置はスタート時

投手	回	安	四	三	自	投手	回	安	四	三	自
氏名	数	打	球	振	責	氏名	数	打	球	振	責
斎藤	4	4	2	1	1	関根	4	6	4	2	6
川崎	2	2				谷田	1	3	1	1	3
チーム計						6	6	2	1	1	1

広い外野が特徴の東京学芸大Gで港VS湘南の今季1回戦が行われた。港先発の斎藤は伸びのある直球で1回2回を零封し安定した立上がり。対する湘南の関根は先頭に四球を与えた後、高橋茂、川邊、嶺井に3者連続の中前安と三輪の内野安で4点を先取されるが、2回3回を連続三者凡退に抑えて味方の援護を待つ。湘南は3回、敵失で得た走者を三塁へ進ませると古川が左前適時打で1点を返し、4回も小嶋の右前安と四球、暴投、敵失に助けられ2点を加えて3対4と追い上げる。流れは湘南に傾くかと思われたその裏、港の下位打線が炸裂。四球で出塁した二人を塁上に置くと9番三輪が力強いスイングで左中間を破り、続く上原は豪快な大飛球を左翼超に放つ三塁打で計3点を追加。港は5回も4点を加えて湘南を突き放し開幕4連勝とした。MVPは相鉄緑園Gなら文句なしの本塁打となる大飛球を放った上原が選出された。(港:大谷)



凄い当たりの三塁打(上原)

第3試合【1回戦】浜風1勝

浜風、浜友との大接戦を制し開幕4連勝！

	(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(0)	(2)	計	安打
浜友	0	1	0	1	1	0	2	5	(6)
浜風	1	0	0	1	0	3	x1	6	(3)
	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)		審:

【勝】工藤 2勝 1S
【敗】岩田 2敗

MVP : 本末 V打点 : 本末
三塁打 : 大石(浜友)・本末(浜風)
二塁打 : 磯(浜友)・伊藤慎(浜風)



サヨナラ適時三塁打
(本末)

浜風				浜友											
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率				
2	本末	3	1	1	.385	7	清水	3			.357				
6	工藤	2	1		.455	3	磯	3	2		.333				
5	軽部	2			.091	6	石川伸	2			.500				
1	乙戸				.250	2	井上	3	2	2	.500				
3	伊藤慎	3	1	3	.231	4	岩田	3			.167				
8	瀧澤	3		1	.273	D	山中	3	1	1	.333				
4	樋高	3			.250	5	大石	2	1		.444				
7	尾野	2			.000	9	高島	2		1	.231				
9	須貝	2			.000	D	江川	2			.000				
D	弘中	2			.000	D	岡崎	2			.000				
						8	白井	1			.143				
						1	早川	2			.300				
チーム計				22	3	5	.136	チーム計				28	6	4	.214

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	自責	投手	回数	安打	四球	三振	自責	
乙戸	4	3		3	1	早川	4	1	4	4	2	
工藤	3	3	2	2	3	岩田	2	2	5	3	4	
チーム計		7	6	2	5	4	チーム計		6	3	9	7

開幕3連勝の浜風と3連敗の浜友の一戦。試合は取っては取られての大接戦となった。初回浜風が本末と工藤の足攻で幸先良く1点先制する。しかし浜友は2回山中右前適時打ですぐさま同点とする。3回は両軍無得点で迎えた4回浜友磯の二塁打と敵失で1点奪うも、その裏浜風は無安打ながらも1点取り返す。続く5回浜友は大石左中間三塁打と高島投ゴロで1点勝ち越すが、6回伊藤の走者一掃3点二塁打で浜風逆転。初勝利目前からたちまち厳しい展開となった浜友だったが7回井上の左前2点適時打で同点に追い付く。しかし後続が倒れ同点で迎えたその裏、先頭弘中四球から本末の左中間越えの一打で弘中激走、長駆生還でゲームセット。白熱したシーソーゲームを浜風が制し、開幕からの連勝を4に伸ばした。MVPは殊勲打の本末が選ばれた。(湘南：廣野)

チーム成績																
	試合	勝利	敗戦	引分	勝点	勝率	G差	安打	HR	得点	失点	打率	出塁率	失策	OIP	
港	5	5	0	0	10	1.000		35		32	13	.280	.393	8	0	
浜風	5	5	0	0	10	1.000	0.0	29	1	36	20	.230	.378	10	1	
港南	5	2	3	0	4	.400	3.0	37	1	15	20	.306	.373	11	1	
浜翔	5	1	4	0	2	.200	1.0	17		20	35	.153	.333	10	1	
浜友	5	1	4	0	2	.200	0.0	37		34	23	.282	.403	6	0	
湘南	5	1	4	0	2	.200	0.0	27		16	42	.221	.345	8	2	

チーム勝敗表						
	港	浜風	港南	浜翔	浜友	湘南
港			○	○○	○	○
浜風				○○	○	○○
港南	●			●	○○	●
浜翔	●●	●●	○			
浜友	●	●	●●			○
湘南	●	●●	○		●	